

現地情報

「南淡路農業大学」が但馬牛の増頭を担う！

和牛経営へ転換した酪農家等の生産技術習得のため、2008年度から南淡路農業大学和牛講座を開設してきた。受講生は延べ119人（76戸）、飼養する繁殖和牛は693頭で、管内繁殖農家の8.6%、飼養頭数の11.2%を占めるようになった。南淡路における但馬牛の増頭対策が着実に進展している。

内容

2003年度頃から、酪農家が繁殖雌牛を飼養するケースが年々増加してきた。しかし、酪農家は乳牛の飼養技術や経営技術に長けていても、和牛の繁殖、市場向け子牛の育成技術に対応できないのが実態であった。そこで、繁殖雌牛を飼い始めた酪農家や和牛農家の後継者を対象に、2008年度から南淡路農業大学和牛講座を開設した。

講座内容は、①子牛の哺育・育成、②繁殖雌牛の選定と栄養・繁殖管理③牛舎構造の改善の3点に重点をおき、座学での基礎知識研修のみならず、削蹄などの実習、管内優良事例の見学、肥育農家との意見交流会、現地講習会など、多岐にわたるカリキュラムを定期的に開催した（表）。

その結果、スムーズに酪農家が和牛へ経営転換を図った。技術の向上に伴い経営が安定化し、2012年度までに受講者のうち68戸が693頭を飼養するまでになった（図）。高齢化等による自然減少が問題となっている南淡路地域の和牛経営において、この取り組みは和牛振興の一翼を担っている。

表 南淡路農業大学和牛講座の開催概要

	受講者数	回数	講座内容	講 師
2008	45人	8回	哺育・育成、疾病・削蹄、繁殖管理等	普及センター、洲本家保、淡路農技、和牛登録協会他
2009	22人	9回		
2010	27人	7回		
2011	17人	6回		
2012	8人	10回	講座の他、巡回指導を実施	

今後の方針

酪農からの経営転換や、定年帰農による新規就農に対しては、子牛の育成や母牛の繁殖管理の技術習得、牛舎増改築など多くの支援が必要である。そのため、今後とも、JA、関係機関が連携し新規和牛農家の技術向上に努め、市場性の高い淡路産和牛の産地づくりに向け、但馬牛の増頭戦略に取り組みたい。

廣瀬 泰徳（南淡路農業改良普及センター）

（問い合わせ先 電話：0799-42-0649）

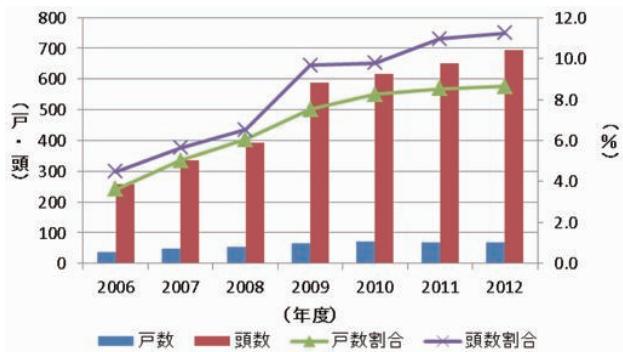


図 和牛講座受講生が管内の和牛経営に占める割合



写真 削蹄技術の実習に取り組む講座生